

竹原の未来につながる複合施設へ ～令和11年度末の完成に向けて～

複合施設整備は、単に新しい建物を整備するものではありません。

こどもや若者、子育て世代をはじめ、多世代の市民が気軽に立ち寄り、学び、活動し、交流できる、**竹原の未来につながる拠点づくり**です。

一方で、**将来の財政運営とのバランス**を考えることも欠かせません。

そのため、市では、必要な機能はしっかり確保しながら、使える施設は有効に活用し、施設規模や整備費を縮減することで、**未来への投資と持続可能な財政運営の両立**を図っていきます。

新たな複合施設が、市民の皆様の**居心地の良い場所、活気があふれる場所**となるよう、**令和11年度末の完成**にむけて、スピード感をもって取り組みます。



複合施設整備の基本的な考え方



必要な
市民サービスは守る

こども・子育て支援、学習、交流、市民活動など、必要な機能はしっかりと確保します。



こども・若者の
未来に投資する

施設整備を、こどもや若者、子育て世代の希望と、本市の未来につながる投資として進めます。



将来の財政運営との
バランスをとる

施設規模、整備費、将来の維持管理費の縮減など、持続可能な財政運営のバランスを図ります。



使えるものは、
きちんと活かす

既存施設は、安全性や改修費を踏まえ、使える施設はできる限り有効に活用します。

複合施設に導入する機能についての検討

市民アンケートなどによる市民ニーズ、整備の緊急性、整備費を総合的に踏まえ、複合施設に導入する機能を検討しました。

	今回導入する機能	将来的な整備を検討する機能
機能名	- こども・子育て支援機能 - 市民活動支援機能（市民館機能、市民ホール） - ロビー	図書館機能 
諸 室	こどものプレイルーム及び一時預かりルーム、屋外広場、学習スペース、こども図書コーナー、会議室、調理室、ホール、リハーサル室など	閲覧室、開架書庫、閉架書庫など 
整理の 考え方	こども・若者・子育て支援など未来への投資、既存施設の安全性、整備費などを踏まえて必要性を検討しました。	図書館は、 市民の学びを支える大切な機能 ですが、商業施設内で運営中であること、整備費が多額となることを踏まえ、今回の整備は難しいと判断しました。今後、市の財政状況等を踏まえ、 将来的な整備について継続的に検討 します。

高校生等の学習スペースの整備について

学習スペースは、未来を広げる大切な場所です。中高生アンケートやALL竹原きらっと未来創造会議などで学習スペースのニーズが高かったことから、旧小型店舗を実証的に、学習スペースとして整備し、令和8年9月上旬の開館を目指します。



既存公共建築物の活用方針の検討

改修して活用する公共建築物

人権センター（1982年建築）・旧小型店舗（1990年建築）

- 建築基準法の構造基準が改正された1981年以降の建築物で、倒壊の危険性が低いため、**改修して活用**します。

解体する公共建築物

旧竹原市庁舎（1966年建築）・市民館ホール棟（1968年建築）

- 建築から60年程度が経過し、耐震性能の不足や施設の老朽化が著しいこと。
 - 大規模改修に多額の費用が必要となること。
- 以上から、**施設の安全性と将来負担の観点から解体**します。



旧小型店舗



旧竹原市庁舎

旧大型商業施設の活用方針の検討

検討1 返還に向けた取組

寄付により取得した土地・建物について、法律の専門家と返還の可能性について協議を重ねてきました。しかし、**法的には返還が難しい**状況であること、また**地権者も活用しない**ことが確認されたため、**市で活用について検討**することとしました。

検討2 公共利用の検討

複合施設として公共利用する場合、施設規模が大きく、設備更新や耐久性の確保のための**大規模改修が必要**となることに加え、市の財政にとって有利な財源の確保が難しく、**公共施設としての活用は困難**であると判断しました。



旧大型商業施設

今後の方針 民間活用に向けた取組

今後は、民間事業者へアンケートやヒアリングなどの市場調査を行い、施設を解体することも含め、**市の活性化につながる事業手法**を検討します。

今後の取組と全体スケジュール

複合施設整備は、**市民館本館棟を改修する案と新しく建設する案の2案**について、施設規模や事業費、将来的な財政負担、利便性などを比較検討し、**最も効果的な整備手法**を決定します。

区分	R8			R9				R10				R11			
	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
複合施設 見直し検討	→											※概略のスケジュールです。			
複合施設 設計業務				→											
複合施設 整備工事												→			

市民の皆様へ

複合施設整備については、期待の声と財政負担や施設規模を心配する声もあります。そのどちらも、**竹原の将来を思う大切な声**であると受け止めています。

市として、必要な市民サービスを守りながら、**将来の財政運営とのバランス**を踏まえ、みなさんの**未来につながる施設**となるよう、丁寧に検討を進めてまいります。